

平成27年度

川西市参画と協働のまちづくり推進に関する取組状況

(公表用資料)

はじめに

本市では、「川西市参画と協働のまちづくり推進条例（平成22年10月施行）」に基づき、市民、自治会、コミュニティ、ボランティア、NPO、事業者や市など様々なまちづくりの主体が、自らの役割を担い、お互いを補完し合うことで、さらに個性的で魅力あふれるまちづくりを目ざしています。

同条例第16条には、「市長は、毎年度、参画と協働のまちづくりの推進に関する取組状況について、公表するものとする。」と規定されており、このたび、同条例に基づきその取組状況をまとめ、公表するものです。

『参画』とは、市の政策等の立案、実施及び評価の過程に主体的に関わって意見や提言を行うことをいいます。

『協働』とは、市民、自治会、コミュニティ、ボランティア、NPO（民間非営利組織）、事業者や市など様々なまちづくりの主体が、それぞれの役割に基づき、お互いの立場を尊重し、地域の課題解決に向けて相互に補完し合うことをいいます。

これら、参画と協働を基本とし、住みよいまちをつかっていくことを「参画と協働のまちづくり」といいます。

様々な手法の参画と協働の取組をとり入れ事業を推進

141事業

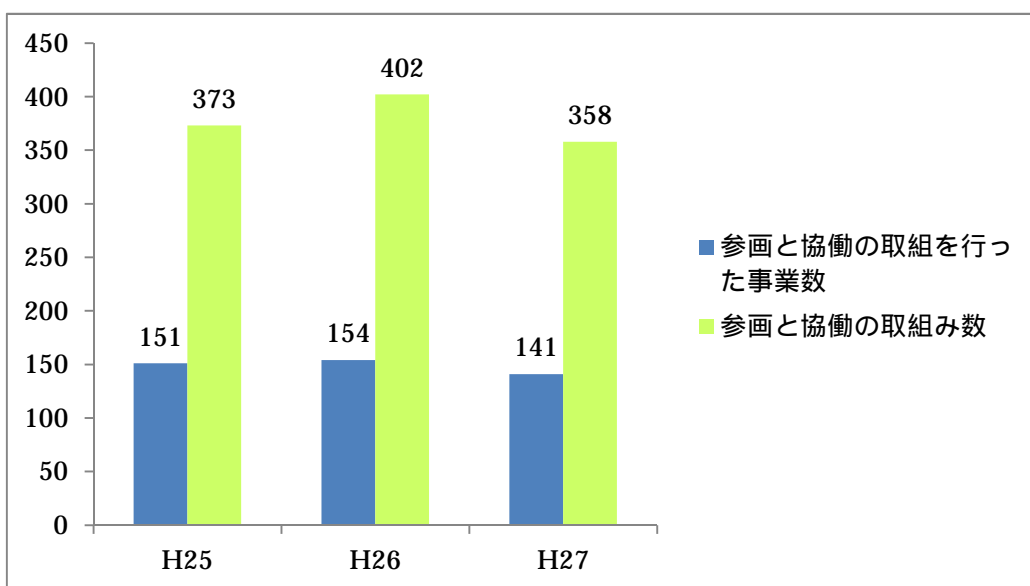
参画と協働の取組を行った事業数

市では、都市整備、防災、福祉、産業、環境、教育、人権などの行政分野において、様々な事業を実施しています。各事業の担当所管では、様々な手法の参画と協働の取組をとり入れ、平成27年度は141事業を進めました。

358件

参画と協働の取組数

どのような参画と協働の手法を用いるのかについては、事業の内容や進捗度合いによって異なりますが、合計で358件の取組を行いました。いくつかの参画と協働の手法を組み合わせ、市民の意見を取り入れたり、市と市民がそれぞれの強みを生かしながら、事業を進めました。



意見提出手続（パブリックコメント）

2件

パブリックコメント
実施件数

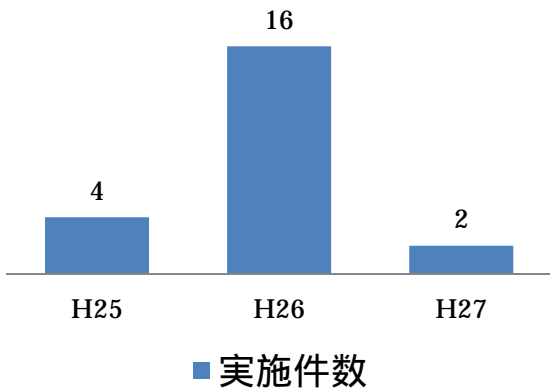
43件

パブリックコメント
意見提出件数

意見提出手続とは、条例第9条で規定されている、行政活動への市民参画の手法のひとつで、市民生活に大きな影響等のある計画などを策定する際に、その素案ができた段階で、その趣旨、内容等を市民等に公表し、これらについての意見等を募集し、またその意見等に対する市の検討結果を公表する一連の手続きです。

平成27年度は、2件の意見提出手続を実施した結果、43件の意見をいただき、市民の意見を計画等の策定に生かしました。

- ◇ あんばい ええまち かわにし創生 人口ビジョン（案）・あんばい ええまち かわにし創生 総合戦略（案）
- ◇ 川西市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例（案）要綱



アンケート

8件

アンケートの
実施件数

アンケートとは、市民等の意向やニーズ、活動の実態などを把握するため、特定のテーマについて、無作為または任意に抽出した市民等に対し、質問を行い、その回答を収集し、分析することによって必要な情報を引き出すものです。平成27年度は、8件のアンケートを実施しました。

- ◇ 市民実感調査
- ◇ 隣保館事業（教室）に関するアンケート
- ◇ 来庁者窓口アンケート
- ◇ 乳幼児健康診査時アンケート
- ◇ まちなか滞留・実感調査
- ◇ 市民意識調査
- ◇ 児童館事業（教室）に関するアンケート
- ◇ レフネック受講生アンケート

意見・提案の募集

299件

「市長への提案」制度を用いた提案件数

幅広い市民等の声を直接把握するとともに、市政運営上の貴重な意見として施策に反映させるため、市長への提案制度を実施し、218人から299件の提案をいただきました。

審議会等の付属機関

25機関

市民、市民公益活動団体または事業者を委員に含む審議会の数

審議会等の付属機関とは、市の政策形成や施策の実施等について調査審議等を求める場合に設置される、あらかじめ定数や任期を定めた複数の委員（学識経験者、各種団体・事業者代表、公募委員等）によって構成された合議制の諮問機関のことです。

18人

市民公募による委員数

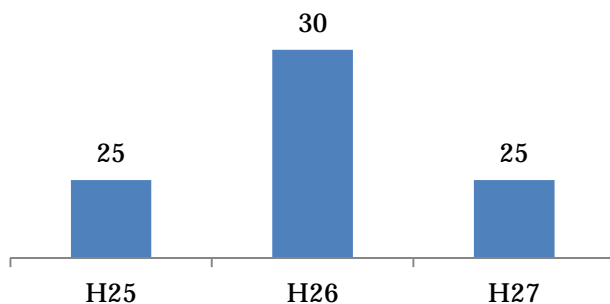
平成27年度は、25機関の調査審議において、市民等の多様な意見が反映されるように努めました。

市民公募委員を含む審議会

- ◇ 川西市参画と協働のまちづくり推進会議
- ◇ 川西市男女共同参画審議会
- ◇ 川西市社会福祉審議会
- ◇ 川西市健康づくり推進協議会
- ◇ 川西市食育推進会議
- ◇ 川西市廃棄物減量等推進審議会
- ◇ 川西市子ども・子育て会議 民間保育施設整備事業者選考部会
- ◇ 川西市青少年問題協議会
- ◇ 川西市図書館協議会
- ◇ 川西市介護保険運営協議会

市民公募委員を含まない審議会

- ◇ あんばい ええまち かわにし総合戦略推進会議
- ◇ 川西市産業ビジョン推進委員会
- ◇ 川西市労働問題審議会
- ◇ 川西市人権施策審議会
- ◇ 川西市民生委員推せん会
- ◇ 川西市都市計画課審議会
- ◇ 川西市景観審議会
- ◇ 川西市公共施設等あり方検討委員会
- ◇ 川西市低炭素型複合施設整備・運営 PFI事業者選定委員会
- ◇ 川西青少年センター運営委員会
- ◇ 川西市社会教育委員の会
- ◇ 生涯学習短期大学運営に係る懇談会
- ◇ 川西市文化財審議委員会
- ◇ 史跡加茂遺跡保存活用計画策定委員会
- ◇ エコまち協議会



■ 付属機関の数

(市民、市民公益活動団体または事業者を委員に含む審議会の数)

各種検討会

18回

各種検討会の
開催回数（延べ）

市の政策形成や施策の実施等にあたって、あらかじめその内容を地域住民や利害関係者等に説明し、意見交換を行い、検討を行うため、平成27年度は、延べ18回の検討会を開催しました。

- ◇ 自治会加入促進検討会
- ◇ 自主防災組織連絡協議会
- ◇ 川西市生活安全推進連絡協議会
- ◇ 大和地域公共交通協議会
- ◇ 清和台地域公共交通協議会
- ◇ 川西市公共交通会議
- ◇ ふるさと団地再生協議会
- ◇ 基礎学力向上検討委員会
- ◇ 川西市認知症ネットワーク構築事業推進会議

住民説明会

178回

住民説明会の
開催回数（延べ）

市民生活に直接かかわるような政策等を決定・実施するにあたって、その内容を地域住民や利害関係者等に説明し、意見交換を行い、理解を求めるため、平成27年度は、延べ178回の住民説明会を開催しました。

- ◇ 都市計画決定に関する説明会
- ◇ 小学校耐震改修工事に関する周辺住民説明会
- ◇ 川西市市民体育館等整備・運営に関する利用団体説明会
- ◇ 清掃事務所整備に関する地域住民説明会
- ◇ 「キセラ川西」のまちづくりと周辺道路の整備に関する説明会
- ◇ 矢問畦野線工事説明会
- ◇ 加茂(3)地区 急傾斜地崩壊対策事業説明会
- ◇ 大型ごみ有料化地域説明会
- ◇ 公立保育園の再編に関する説明会
- ◇ 公立幼稚園の再編に関する説明会

情報発信・啓発

16種類

情報発信・啓発の方法

市民生活に直接かかわるような市の政策や施策の内容について、平成27年度は、16種類の方法により、市民にむけ積極的に情報発信をしたり、特定の施策に対する啓発活動を行いました。

- ◇ 予算編成プロセスの公開
- ◇ 市民等が市の魅力を発信するフェイスブックページ「かわにしさん」の開設・運営
- ◇ 自治会活性化会議
- ◇ 自治会加入促進マニュアルの作成
- ◇ シェイクアウト訓練
- ◇ きんたくんプロジェクト
- ◇ スポーツクラブ21運営の支援
- ◇ 折り鶴平和大使
- ◇ きんたくん健幸体操
- ◇ かわにし生活景はがき絵募集ふるさと川西景観展
- ◇ 桜の開花観察
- ◇ 路上喫煙・ポイ捨て防止啓発活動
- ◇ 青少年ふれあいデー
- ◇ 小学校副読本の整備
- ◇ 中学校教科書・副読本の整備
- ◇ 子ども議会



 「かわにしさん」の投稿者はこんな人
2月1日から募集

川西のこと が好き・川西の魅力を世界中に伝えたい人
※居住の市内外は問いません

フェイスブック を利用している人

申し込みは電子メールで、件名「かわにしさん登録希望」、郵便番号、住所、氏名、年齢、フェイスブック登録メールアドレスを書き、2月1日(月)から魅力創造課へ。



第5回 ふるさと川西景観展



平成27年9月7日(月)～9月18日(金)

講座・講習会

757回

講座・講習会の
開催回数

講座・講習会とは、市民等の理解や協働が必要な政策等を進めるにあたって、市民等に対し、基礎的・専門的な情報や知識、技術などについて学ぶ機会を提供する手法です。平成27年度は、757回の講座・講習会を開催し、延べ約43,200人が参加されました。

約43,200人

講座・講習会の
参加人数（延べ）

- ◇ 市民からの要望に応じて開催するまちづくり出前講座
- ◇ 各所管が開催する講座、研修会、生涯学習短期大学など
- ◇ 各公民館で開催する市民向け講座

フォーラム・シンポジウム

8件

フォーラム・シンポジウム
の開催件数

フォーラムとは、政策等の立案や課題の解決に向けて、制度等の普及啓発や幅広い市民の意見・意向を把握するため、不特定多数の市民に参加を呼びかけ、行政の説明や専門家の講演等により、必要な情報を共有しながら、意見交換する公開討論会です。

約1,000人

フォーラム・シンポジウム
の参加人数（延べ）

シンポジウムとは、政策等の推進にあたり、市民の理解を深めたり制度等の普及啓発を図るため、特定のテーマについて、専門家や市民、行政などの数名の報告者が、それぞれ異なった立場・側面から講演・発表を行い、その後、司会や会場からの質問に答える多数参加型の会議です。

平成27年度は、8件のフォーラム・シンポジウムを開催し、延べ約1,000人が参加されました。

- ◇ 子どもの人権オンブズパーソン年次活動報告会
- ◇ 男女共同参画市民企画員による企画イベント
- ◇ 地域福祉市民フォーラム
- ◇ 景観計画リレーフォーラム・景観フォーラム(黒川編)
- ◇ 住宅耐震改修の市民フォーラム
- ◇ 青少年等健全育成にかかる協議会
- ◇ 市内量販店等との青少年の問題行動防止会議
- ◇ 認知症地域資源ネットワーク構築事業報告会（川西市認知症ネットワーク構築事業）

ワークショップ

9件

ワークショップの
開催件数

約830人

ワークショップの参加
人数(延べ)

ワークショップとは、計画の原案や素案といった叩き台のない白紙の段階から参画を求める手法で、所定のテーマについて、参加者(市民、専門家、行政職員等)が自ら参加・体験しながら、課題を発見し、対等な立場で相互に学びながら議論を重ねることで、合意を形成し、提案等をまとめるものです。

平成27年度は、9件のワークショップを開催し、延べ約830人が参加されました。

- ◇ まちづくり井戸端会議
 - ◇ 地震や風水害に関するワークショップ(図上訓練)
 - ◇ バスに乗ろうキャンペーン・大和地域住民によるワークショップ
 - ◇ 夏休み 親子で国崎クリーンセンター見学会
 - ◇ キャラバンメイトワークショップ(川西市認知症ネットワーク構築事業・認知症地域資源ネットワーク構築事業)
 - ◇ ポスター掲示ワークショップ
 - ◇ ホタル復活プロジェクト
 - ◇ 市民プログラムワークショップ
- 等

共催・実行委員会

40件

共催・実行委員会の実施
件数

共催とは、市民(団体や事業者)と行政のそれぞれが主催者となって共同で一つの事業を行う形態です。事業の実施責任や成果は構成するそれぞれの主体が共有します。

実行委員会とは、市民(団体や事業者等)と行政が新しい一つの組織を立ち上げ、そこが主催者となって事業を行う形態です。

平成27年度は、40件のイベントやプロジェクト等が共催・実行委員会の形態で実施されました。

- ◇ 事業者、様々な団体、市民との共催または実行委員会により開催されるまつり、文化祭、花火大会、フォーラム、イベント、プロジェクト

ボランティア・NPO等との連携

52件

ボランティア・NPOとの
連携による実施件数

ボランティア・NPO等との連携とは、担い手づくりや活動の場の提供など活動しやすい環境を整備し、様々なまちづくりの主体がその特性を生かし、それぞれの自主性、自発性を尊重しながら事業を進めることです。平成27年度は、52件の事業がボランティア・NPO等との連携により実施されました。

- ◇ 市民企画員、推進員、サポーターによる活動
- ◇ ボランティアによる講座の企画・運営・実施、音訳、点訳、手話通訳、保育、緑化推進などの実施
- ◇ NPOやボランティアが企画・運営を担うイベントの実施など

補助、助成、報償

84件

補助金・助成金等の
件数

補助、助成、報償とは、市民公益活動団体等が公益的な活動を行う場合、その費用の全部または一部を市が支援するものです。平成27年度は、84件の補助金・助成金等を交付しました。

- ◇ 市民公益活動団体への補助金、助成金の交付
- ◇ 自治会活動、公園管理協力に対する報償金 など

委託

22件

委託により実施した
事業件数

委託とは、ここでは、行政が実施するよりも、より効果的・効率的にサービスを提供できるものについて、市民公益活動団体や事業者等に事業の運営等を委ねたり、公の施設の一部の管理等を委託し、その管理・運営を行ってもらっているもののことを指します。平成27年度は、22件の事業を委託により実施しました。

自治会、コミュニティ、地域活動団体、NPO、学校等への業務委託

指定管理

7件

指定管理を実施した
件数

指定管理とは、ここでは、行政が実施するよりも、より効果的・効率的にサービスを提供できるものについて、市民公益活動団体が公の施設の指定管理者となってその管理・運営を行っているもののことを指します。平成27年度は、7件の指定管理を実施しました。

コミュニティセンター、老人憩いの家、市民活動センター、男女共同参画センターの指定管理

市政モニター

2件

モニター実施件数

35人

モニター登録人数

市政モニターとは、公募等により選定した市民をモニターとして登録し、市の様々な施策や課題等について、郵送・インターネット等によるアンケートやモニター会議への出席等を依頼し、意見や提言を求める手法です。平成27年度は、2件の市政モニターが実施され、35人が登録モニターとして活動されました。

◇ ごみ減量チャレンジ・モニター

◇ 水道モニター

各部局が参画と協働のまちづくりに取り組んでいます

48課

参画と協働の取組を行っている担当所管の数

冒頭でも説明したとおり、様々な参画と協働の取組をとり入れて、各部局の担当所管は事業を進めています。また、現在参画と協働の取組を行っていない事業の中にも、今後、取組みを行う可能性がある事業があります。

まちづくりへの参加が“ あんばい ええまち かわにし ”を

参画と協働のまちづくりは、行政だけでは進めることができません。市民、自治会、コミュニティ、ボランティア、NPO、事業者の皆さまが、それぞれの強みを生かしてまちづくりに参加することで、私たちのふるさと川西がさらに魅力あふれる“ あんばい ええまち ”になるよう、取り組んでいきましょう。



参画と協働のまちづくりに関する情報は、川西市ホームページ及びフェイスブック、地域夢・未来ブログ、市民活動センターホームページ及びブログ、川西市広報誌等により発信しています。

川西市 参画と協働

